

平成13年3月期

第1四半期連結決算短信

平成12年8月23日

上場会社名 株式会社エスケイジャパン 上場取引所(所属部) 大阪証券取引所・新市場部  
 コード番号 7608  
 本社所在地 大阪市中央区上町一丁目3番10号  
 問合せ先 責任者役職名 取締役管理部長  
 氏名 川上 優 TEL (06) 6765-0670

第1四半期連結決算取締役会開催日 平成12年8月23日

1. 13年3月期第1四半期の業績(平成12年4月1日~平成12年6月30日)

13年3月期第1四半期に初めて第1四半期連結財務諸表を作成したため、前年同期との対比は売上高のみとしております。  
 平成12年3月期以外の財務数値につきましては、監査法人による会計監査を受けておりません。

(1) 経営成績 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高(対前年同期増減率)		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円		百万円	
12年第1四半期	1,228	(4.4)	120		118	
11年第1四半期	1,175		-		-	
12年3月期	5,030		458		440	

	四半期(当期) 純利益	1株当たり 四半期(当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	株主資本 四半期(当期) 純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	円 銭	円 銭	%	%	%
12年第1四半期	63	18 76	18 44	4.0	4.5	9.7
11年第1四半期	-	-	-	-	-	-
12年3月期	242	77 07	75 41	18.7	18.9	8.8

(注) 1. 持分法投資損益 12年第1四半期 - 百万円 12年3月期 - 百万円

(2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円 銭	
12年第1四半期	2,707	1,582	58.5	470	49
12年3月期	2,628	1,575	60.0	468	56

(注) 1. 12年第1四半期末の有価証券の評価損益 0百万円  
 2. 12年第1四半期末のデリバティブ取引の評価損益 - 百万円

(3) キャッシュフローの状況

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
12年第1四半期	88	8	33	814
12年3月期	308	48	194	876

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 1社 持分法適用非連結子会社数 0社 持分法適用関連会社数 0社

(5) 会計処理の方法等の変更

連結範囲及び持分法の適用の異動状況  
 連結(新規) 0社(除外) 0社 持分法(新規) 0社(除外) 0社  
 会計処理の方法の変更 無

2. 13年3月期の業績予想(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	2,690	195	110
通期	5,616	455	261

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (連結) 77円 78銭 (単独) 76円 34銭

(参考) 当社(単独)の13年3月期第1四半期の業績(平成12年4月1日~平成12年6月30日)

売上高(対前年同期増減率)	営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	
	1,060	(3.5)	114	
			116	

四半期純利益	1株当たり四半期純利益	総資産	株主資本
百万円	円 銭	百万円	百万円
60	18 06	2,569	1,556

## 1. 経営成績

### (1) 当第1四半期の概況

当第1四半期の売上高は、当社及び当社関係会社（以下、当社グループと称します）のアミューズメント向け販売事業が好調であったことにより、1,228百万円（前年同期比4.4%増）と増収となりました。

利益面では、当第1四半期の経常利益は118百万円となり、当第1四半期純利益は、退職給付会計制度への変更時差異額38百万円を当期に一括償却することにしており、当第1四半期で4分の1相当額を特別損失としたため、63百万円の実績となりました。

また、当社グループでは今期のアクションプランを掲げましたが、当第1四半期における進捗状況は以下のとおりであります。

#### 商品企画開発体制の構築

当社は商品企画機能の中心を東京に移しており、当社グループのファンシー部門を担当する㈱サンエスは、商品部機能を全面的に移行いたしました。今後、グループとしての商品企画開発力の強化に取り組んでまいります。

#### 東日本地区の営業拡大

東京営業所の売上高構成比は42%であり、目標である50%実現のために、チェーン店専任の担当者の設置、商品部との連動等、営業推進の強化に努めてまいります。

#### 顧客対応力の強化

商品面では、顧客要望商品の迅速な仕入対応、お値打ち商品の提供、小口ロット仕入等の実施、また営業面では顧客への訪問頻度の強化を実施し、より木目細かい営業活動を強化しております。

#### 業務提携・M & Aを視野に入れた事業規模拡大

具体的な提携先は決定しておりませんが、事業規模拡大のために、当社グループの事業に関連する企業に絞って検討しております。

以上が第1四半期の状況であります。第2四半期以降も引き続きこのアクションプランを軸にして経営目標の達成に取り組んでまいります。

### (2) 部門別の状況

#### 〔アミューズメント業界向け販売事業〕

アミューズメント業界向け販売事業は、メーカー系・ショッピングセンター系オペレーターの著しい伸びにより売上高1,040百万円（前年同期比6.5%増）と増収となりました。しかし、これらの取引先への当社シェアはまだ小さいため、今後も積極的な営業推進を図り拡大していきたいと考えております。また、商品的にはぬいぐるみと、玩具、スポーツ・レジャー用品が好調で、売上と利益の増加に大きく貢献いたしました。

S P部門に関しましては、商品を絞って営業活動を行い、さまざまな業界にアプローチしました。その結果合計12社から発注があり、売上高は6百万円を計上いたしました。

#### 〔ファンシー業界向け販売事業〕

ファンシー業界向け販売事業は、雑貨専門店への売上は増加しましたが、自社企画商品の不足により卸売問屋への売上が大きく落ち込みました。商品的には主力である携帯電話アクセサリグッズが低迷し、一方でそれを補う商品群の導入と企画開発がすすまず、総じて低調に推移いたしました。

以上のような結果で、売上高187百万円（前年同期比5.6%減）と減収となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間末 (平成12年6月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成12年3月31日現在)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)			%		%
流動資産					
現金及び預金		764,438		826,846	
受取手形及び売掛金	1	686,480		724,360	
有価証券		50,047		57,701	
棚卸資産		247,739		76,921	
繰延税金資産		15,305		15,990	
その他		31,375		28,686	
貸倒引当金		4,005		5,803	
流動資産合計		1,791,379	66.2	1,724,703	65.6
固定資産					
(1)有形固定資産	2				
建物		289,048		293,717	
土地		434,130		434,130	
その他		12,337		12,718	
有形固定資産合計		735,515	27.2	740,566	28.2
(2)無形固定資産		5,802	0.2	5,802	0.2
(3)投資その他の資産					
投資有価証券		6,967		-	
破産債権・更生債権等		7,352		8,242	
保険積立金		160,725		153,576	
繰延税金資産		4,923		2,664	
その他		1,964		1,392	
貸倒引当金		7,352		8,242	
投資その他の資産合計		174,580	6.4	157,633	6.0
固定資産合計		915,898	33.8	904,002	34.4
資産合計		2,707,278	100.0	2,628,705	100.0

(単位：千円)

科 目	期 別	当第1四半期連結会計期間末 (平成12年6月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成12年3月31日現在)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)			%		%
流動負債					
買掛金		503,166		413,580	
短期借入金		307,562		262,064	
未払金		41,456		60,099	
未払法人税等		49,404		119,277	
未払配当金		40,438		-	
賞与引当金		46,149		25,093	
その他		34,327		66,825	
流動負債合計		1,022,505	37.7	946,941	36.0
固定負債					
長期借入金		94,219		105,778	
退職給付引当金		8,076		-	
固定負債合計		102,295	3.8	105,778	4.0
負債合計		1,124,800	41.5	1,052,719	40.0
(資本の部)					
資本金		336,002	12.4	336,002	12.8
資本準備金		367,364	13.6	367,364	14.0
連結剰余金		879,352	32.5	872,893	33.2
自己株式	3	241	0.0	273	0.0
資本合計		1,582,477	58.5	1,575,986	60.0
負債・資本合計		2,707,278	100.0	2,628,705	100.0

(注)

	当第1四半期連結会計期間末	前連結会計年度
1. 受取手形割引高	22,555千円	25,598千円
2. 有形固定資産 減価償却累計額	120,147千円	114,081千円
3. 自己株式数	425株	425株

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第1四半期連結会計期間 〔自 平成12年4月1日 至 平成12年6月30日〕		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔自 平成11年4月1日 至 平成12年3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
		%		%
売 上 高	1,228,096	100.0	5,030,532	100.0
売 上 原 価	823,552	67.1	3,395,639	67.5
売 上 総 利 益	404,543	32.9	1,634,892	32.5
販売費及び一般管理費	284,099	23.1	1,176,477	23.4
営 業 利 益	120,444	9.8	458,415	9.1
営 業 外 収 益	1,074	0.1	19,426	0.4
営 業 外 費 用	2,696	0.2	37,022	0.7
経 常 利 益	118,822	9.7	440,819	8.8
特 別 利 益	1,797	0.1	-	-
特 別 損 失	9,630	0.8	845	0.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益	110,989	9.0	439,973	8.8
法人税、住民税及び事業税	49,451	4.0	203,017	4.0
法人税等調整額	1,573	0.1	5,498	0.0
四半期(当期)純利益	63,110	5.1	242,454	4.8

(注)

1. 支 払 利 息	当第1四半期連結会計期間 1,846千円	前連結会計年度 9,760千円
------------	-------------------------	--------------------

## (3) 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当第1四半期連結会計期間 〔自 平成12年4月1日 至 平成12年6月30日〕		前連結会計年度の 〔自 平成11年4月1日 至 平成12年3月31日〕	
	金 額		金 額	
連結剰余金期首残高				
1 連結剰余金期首残高	872,893		629,159	
2 過年度税効果調整額	-	872,893	13,156	642,315
連結剰余金減少高				
1 配当金	50,451		8,876	
2 役員賞与 (うち監査役賞与)	6,200 (400)	56,651	3,000 (200)	11,876
四半期(当期)純利益		63,110		242,454
連結剰余金期末残高		879,352		872,893

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当第1四半期連結会計期間 〔自 平成12年4月1日〕 〔至 平成12年6月30日〕	前連結会計年度 〔自 平成11年4月1日〕 〔至 平成12年3月31日〕
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	110,989	439,973
減価償却費	6,067	26,590
投資有価証券評価損	742	-
賞与引当金の増加額	21,056	5,225
貸倒引当金の増加額・減少額( )	2,688	6,268
退職給付引当金の増加額	8,076	-
受取利息	239	534
支払利息	1,846	9,760
有価証券売却益	-	3,917
保険解約益	-	8,952
有形固定資産売却損	-	845
売上債権の増加額( )・減少額	37,880	94,334
棚卸資産の増加額( )・減少額	170,819	13,057
仕入債務の増加額	89,586	68,264
役員賞与の支払額	6,200	3,000
その他	63,524	38,944
小計	32,772	498,189
利息の受取額	239	632
利息の支払額	1,846	9,604
法人税等の支払額	119,325	181,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,160	308,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	43,030
有価証券の売却による収入	-	39,050
保険積立による支出	7,149	51,996
保険解約による返戻金収入	-	21,392
有形固定資産の取得による支出	1,015	14,055
有形固定資産の売却による収入	-	542
無形固定資産の取得による支出	-	190
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,164	48,287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	140,000	-
短期借入金の返済による支出	94,502	40,811
長期借入金の返済による支出	11,559	65,444
株式の発行による収入	-	310,200
自己株式の取得による支出	-	427
配当金の支払額	-	8,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,939	194,642
現金及び現金同等物の増減額	62,385	454,456
現金及び現金同等物期首残高	876,869	422,413
現金及び現金同等物期末残高	814,485	876,869

#### (5) 四半期連結財務諸表作成の基本となる事項

##### 1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社は、株式会社サンエス1社のみであります。

##### 2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用会社はありません。

##### 3. 連結子会社の四半期決算日等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は四半期連結決算日と一致しております。

##### 4. 会計処理基準に関する事項

###### (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

###### イ 有価証券

###### その他有価証券

時価のあるもの 移動平均法による期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差益は資本の部に計上し、評価差損は当期損失として処理する部分資本直入法）

時価のないもの 移動平均法による原価法

###### ロ 棚卸資産 総平均法（月次）による原価法を採用しております。

###### (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法に規定する方法と同一の基準による定率法によっており、事業年度に係る減価償却費の額を期間により按分して計上しております。

###### (3) 重要な引当金の計上基準

イ 退職給付引当金 従業員の将来の退職給付に充てるため、年金財政上の責任準備金を退職給付債務とし、退職給付債務から年金資産の公正な評価額を控除した額を計上しております。

なお、会計基準変更時差異（38,523千円）については、1年間で一括費用処理をし、当四半期においては、3ヶ月分を費用処理しております。

ロ 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

ハ 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

###### (4) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

###### (5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

###### (6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

四半期連結キャッシュ・フロー計算書上の資金の範囲に含めた現金及び現金同等物は、手許現金及び取得日から最長で1年以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値変動リスクの僅少な定期預金等であります。

###### (7) 平成12年3月期以外の財務数値につきましては、監査法人による会計監査を受けておりません。

#### 追加情報

##### (退職給付会計)

当第1四半期会計期間から退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成10年6月16日））を適用しております。この結果、従来の方によった場合と比較して、退職給付費用（会計基準変更時差異費用処理額を含む）が8,076千円、経常利益は1,554千円増加し、税金等調整前四半期純利益は8,076千円減少しております。

(金融商品会計)

当第1四半期会計期間から金融商品に係る会計基準(「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成11年1月22日))を適用しておりますが、従来の方法による場合と比較して、影響はありません。

また、期首時点で保有する有価証券の保有目的を検討した結果、流動資産の有価証券6,967千円は、投資有価証券に振替えております。

### 3.セグメント情報

#### 1. 事業の種類別セグメント情報

当社グループは同一セグメントに属するぬいぐるみ・キーホルダー・携帯電話関連グッズ・玩具等のファンシーグッズの企画販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

#### 2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

#### 3. 海外売上高

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## 4. 販 売 の 状 況

### (1) 業 態 別 売 上 高

(単位：千円、%)

		当第1四半期連結会計期間 〔平成12年4月1日から 平成12年6月30日まで〕		前連結会計年度 〔平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで〕	
		売上高	構成比	売上高	構成比
ア ミ ユ ー ズ メ ン ト	メーカー系	154,610	12.6	554,845	11.0
	量販店系	45,661	3.7	302,659	6.0
	ショッピングセンター系	112,737	9.2	397,851	7.9
	路面店	616,960	50.2	2,510,310	49.9
	遊園地等	30,970	2.5	94,144	1.9
	ディストリビューター	79,610	6.5	365,107	7.3
小 計		1,040,551	84.7	4,224,919	84.0
フ ァ ン シ ー	問 屋	22,613	1.9	137,997	2.7
	小売店	164,931	13.4	667,614	13.3
	小 計	187,544	15.3	805,612	16.0
合 計		1,228,096	100.0	5,030,532	100.0

- (注) 1. メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。  
 2. 量販店系とは、大手量販店(スーパー等)のアミューズメント部門のことです。  
 3. ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開している企業のことです。  
 4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことです。  
 5. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 商 品 分 類 別 売 上 高

(単位：千円、%)

	当第1四半期連結会計期間 〔平成12年4月1日から 平成12年6月30日まで〕		前連結会計年度 〔平成11年4月1日から 平成12年3月31日まで〕	
	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	21,084	1.7	87,328	1.7
キャラクター商品	357,177	29.1	1,247,907	24.8
仕入商品	849,834	69.2	3,695,295	73.5
合 計	1,228,096	100.0	5,030,532	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## 5. 有 価 証 券 関 係

(当第1四半期連結会計期間末)(平成12年6月30日現在)

### 有 価 証 券

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期連結貸借 対照表計上額	時 価	差 額
(1)国債・地方債等	- 千円	- 千円	- 千円
(2)社債	-	-	-
(3)その他	-	-	-
合 計	-	-	-

2. その他有価証券で時価のあるもの

	取得原価	四半期連結貸借 対照表計上額	差 額
(1)株式	- 千円	- 千円	- 千円
(2)債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	-	-	-
その他	-	-	-
(3)その他	7,897	6,967	929
合 計	7,897	6,967	929

3. 時価評価されていない主な「有価証券」(上記1を除く)の内容及び第1四半期連結貸借対照表計上額

(1) その他有価証券

マネーマネジメントファンド*	30,022 千円
中期国債ファンド*	20,025